

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

様へ

月日	月 日		月 日
経過	当日 (治療前)	当日 (治療後)	退院日
目標	治療のための準備ができる 不安なく治療を受けることができる	穿刺部位の異常 (出血、発赤、腫れ)がない 38℃以上の発熱がない 安静が守れる 生活習慣のための行動目標が たてられる	退院後 生活上の注意点が言える 生活習慣のため行動目標を 宣言できる
検査			
食事	治療の開始時間により □延食になります (昼) □軽食になります (昼) □いつも通り食事を 済ませてください ※水分の制限はありません	治療後より飲食可能です	朝食後、退院できます
	朝食は 自宅です	看護師が 説明します	 
処置・観察	毛剃りを行う場合があります (部位) リストバンドを手首か足首に 装着します (退院日まで装着します)  治療前に体温、脈拍、血圧 酸素飽和度を測ります 午前・午後 時から治療が始まります 点滴の針を入れます 尿の管を入れます	 体温、脈拍、血圧酸素飽和度を 1～2時間ごとに測ります <肘穿刺の場合> 出血を予防するため止血バンドを します 6時間後に、看護師がシーネを はずし、包帯を巻きます 出血・血腫などの有無を確認します	 体温、脈拍、血圧、酸素飽和度を 測ります (1回/日) 朝に医師が穿刺部位の確認をします 退院時にリストバンドを外します 点滴の管を抜きます 尿の管を抜きます
注射・内服	 持参薬、お薬手帳を 看護師にお渡しください 普段の薬は、治療前の指示に 従って内服してください	 点滴がついたまま 病室に戻ります 点滴終了後も 管は抜かずに残します	 容態により退院後の お薬が出ます
行動	 治療前にトイレを済ませ化粧を とり、入れ歯、時計、アクセサリ ー、眼鏡を外してください  検査着に着替えてください  車椅子で治療室に行きます	治療した部位は曲げたりついたりせ ず、できるだけ動かさないでください 治療後、説明があるまでベッドでの 安静ですがトイレまでの歩行は できます <肘穿刺の場合> 医師の指示により制限なくなります <鼠径穿刺の場合> 翌朝まで床上安静です	 医師の検創後、制限ありません  退院した日はシャワーのみ  退院翌日から入浴できます
説明	 医師より説明 ・入院後の検査や治療計画に ついて  看護師より説明 ・入院生活について ・治療前後の処置や安静について ・生活習慣について  薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について	 医師より説明 治療結果と今後の 治療計画について (治療当日または翌日)  看護師より説明 ・治療後の安静について	 看護師より説明 ・退院後の療養について

* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

05-170-5 2019.10.3 版

京都第一赤十字病院

* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。